

石川県内経済情勢

令和7年10月
財務省北陸財務局

県内経済は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

(注) 7年10月判断は、前回7年7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費：緩やかに回復しつつある。

百貨店・スーパー販売

飲食料品に動きがみられることから、緩やかに回復しつつある。

コンビニエンスストア販売

飲料や米飯類等に動きがみられることから、堅調となっている。

ドラッグストア販売

飲食料品等に動きがみられるほか、新規出店効果もあり、拡大している。

ホームセンター販売

日用品の動きが鈍いものの、園芸用品に動きがみられることから、前年並みとなっている。

家電大型専門店販売

パソコンや携帯電話に動きがみられるものの、冷蔵庫等の動きが鈍いことから、持ち直しの動きに一服感がみられる。

新車販売台数

持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。

主要観光地の来訪客数

前年を上回っている。

主要温泉地の宿泊客数

前年を上回っている。

設備投資：7年度は増加見込みとなっている。（法人企業景気予測調査（7年7-9月期調査））

製造業は増加見込み、非製造業は減少見込みとなっている。

住宅建設：持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。

新設住宅着工戸数でみると、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。

公共事業：前年を上回っている。

前払金保証請負金額

前年を上回っている。

生産活動：一進一退の状況にある。

汎用・生産用・業務用機械

金属加工機械が下げ止まっているほか、繊維機械で持ち直しつつあることなどから、全体では持ち直しつつある。

電気機械

スマートフォン向けで下げ止まっているものの、自動車向けで弱い動きとなっていることなどから、全体では弱い動きとなっている。

化学

大宗を占める医薬品で、緩やかに回復している。

繊維

非衣料向けが持ち直しつつあるものの、衣料向けが弱含んでいることから、全体では横ばいの状況にある。

企業収益：7年度は減益見込みとなっている。（法人企業景気予測調査（7年7-9月期調査））

製造業、非製造業ともに減益見込みとなっている。規模別では、大企業、中堅企業、中小企業ともに減益見込みとなっている。

企業の景況感：全産業では「下降」超となっている。（法人企業景気予測調査（7年7-9月期調査））

現状判断（7年7-9月期）は、製造業、非製造業ともに「下降」超となっている。

なお、先行きは、全産業では7年10-12月期、8年1-3月期ともに「上昇」超となる見通しとなっている。

雇用情勢：緩やかに持ち直している。

有効求人倍率（季節調整値）

低下しているものの、高水準で推移している。

新規求人数

前年並みとなっている。

新規求職者数

前年を下回っている。

雇用保険受給者実人員

前年を下回っている。

金融機関の貸出金：前年を上回っている。

企業倒産：前年を上回っている。

件数、負債総額ともに前年を上回っている。

消費者物価（金沢市、生鮮食品を除く総合）：前年を上回っている。

お問合せ先 財務省 北陸財務局 経済調査課 TEL (076) 292-7858
--